

## 5月から10月に継続出荷できる 収益性が高いなら主力品種の組合せ体系

山形県最上総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室

### 研究のねらい

にら産地の維持・拡大のため、最上地域の主力品種と新品種を組み合わせた5月から10月の継続出荷体系を検討し、収量及び収益性が高くなる、品種と収穫時期の組合せを明らかにした。

### 研究の成果

- ① 5月下旬から6月上旬に抽苔<sup>ちゅうたい</sup>\*盛期となる新品種「エナジーグリーンベルト」と、7月上中旬に抽苔盛期となる最上地域の主力品種「パワフルグリーンベルト」を組み合わせることで、作業労力の増加を避けながら5月から10月の継続出荷が可能となる(図1)。
- ② 圃場を春どり用、夏どり用、秋どり用に分け、春どりは「パワフルグリーンベルト」、夏どり及び秋どりは「エナジーグリーンベルト」を収穫する組合せ体系とすることで、収量及び収益性が高くなる(図1、図2)。

※ 抽苔<sup>ちゅうたい</sup>: 花芽が付いた茎(花茎)が伸び出す現象。

収穫物に花茎が混入すると、出荷調整にかかる作業労力が増加する。

月	5			6			7			8			9			10		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
春どり パワフルグリーンベルト	○	—	○	—	—	○	*—*	—	—	—	—	—						
夏どり エナジーグリーンベルト				*—*	—	—	—	—	○	—	—	○						
秋どり エナジーグリーンベルト				*—*	—	—	—	—	—			×	—	—	○	—	—	○

注 ×: 刈捨て、○: 収穫、

\*—\*: 抽苔盛期、\*---\*: 抽苔期(両品種とも抽苔盛期以降の抽苔の発生は少なくなる)

図1 「パワフルグリーンベルト」及び「エナジーグリーンベルト」を組み合わせた継続出荷体系

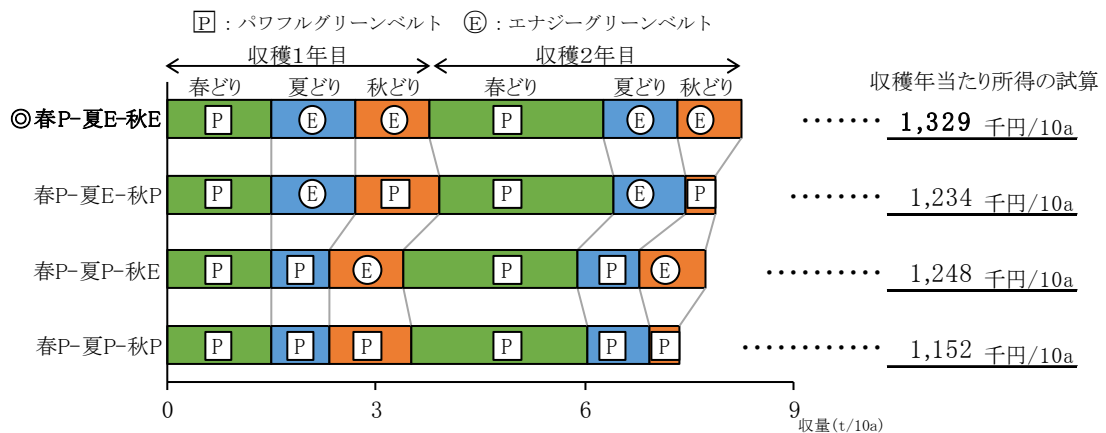


図2 春どり～秋どりにおける品種組合せと収量及び収穫年当たり所得の試算

〔春・夏・秋で10aを等分した場合の収量及び所得  
春どりにエナジーグリーンベルトを収穫する場合は収量等が低いことから省略〕